

社会

2 健康なくらしをささえる

使った水のゆくえ

選択

なまえ

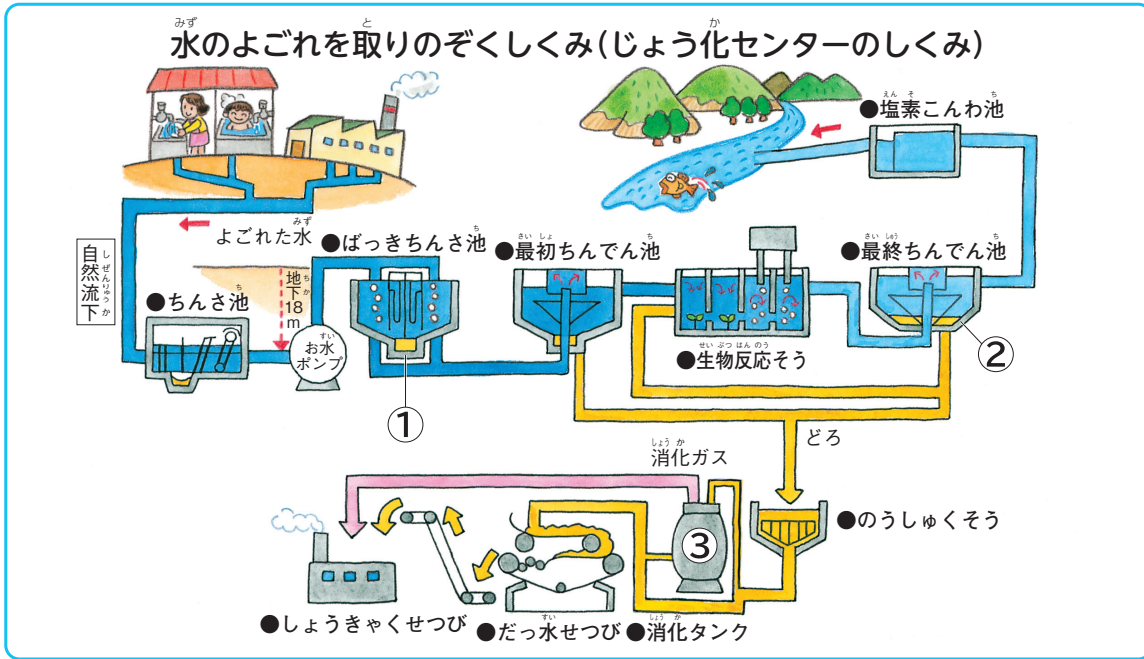
組 番

知・技 思・判・表

/50

/50

点



知識・技能

各10点[50]

1 使った水のゆくえについて、答えましょう。
各10点[50]

(1) 次の説明としてあう場所を、上の図の①～③から選んで、□に番号を書きましょう。

- しずかに水を流して、水とどろやごみを分ける。
- 空気をふきこんで水をかき回し、砂を底にすくめる。

(2) 奈良県の浄化センターについて、()にあう言葉を□から選んで書きましょう。

- ▶ 浄化センターでは、使った水をしりして()してから川に流している。
- ▶ 浄化センターの生物反応そうでは、下水のよごれを食べる()のはたらきを利用している。

魚 あたたかく 微生物 消どく

(3) 資料からわかること1つに、○をつけましょう。

- () のうしゆくそうでは、どろをだっ水して水分を取っている。
- () 浄化センターから出るどろは、しょうきゃくせつびでもやしている。
- () しりしたどろは、すべてうめ立てている。

思考・判断・表現

各10点[50]

2 よごれた水のしりについて、考えましょう。
各10点[50]

(1) 浄化センターがつくられたわけとして、正しいもの2つに○をつけましょう。

- 奈良盆地の人口がふえて、飲み水が足りなくなってきたからだね。
- 奈良盆地を流れる大和川が、全国でもよごれのひどい川になったからなんだね。
- 大雨のときに大和川がはんらんしないように、水をためておくためなんだよ。
- 家庭や工場で使った水を、そのまま川へ流していたからなんだね。

(2) 浄化センターのやくわりについて、()にあう言葉を書きましょう。

- ▶ よごれた水を()にしている。

(3) { }の中のあう言葉を、○でかこみましょう。

県は奈良盆地に浄化センターをつくって、計画的に{ 下水道 森林 地下水 }を広めてきました。

(4) よごれた水を流さないために、あなたにできることを、考えて書きましょう。

表現力

社会 3 自然災害から人々を守る 奈良県の地震災害

選択

なまえ

組 番

知・技 思・判・表

/50

/50

点

知識・技能

各10点[50]

1 地震災害について、答えましょう。 各10点[50]

奈良県が被害を受けたおもな地震

発生年月日	地震名	マグニチュード 強さ(M)
1944年12月7日 (昭和19)	「東南海地震」	7.9
1946年12月21日	「南海地震」	8.0
1952年7月18日	「吉野地震」	6.7
1995年1月17日 (平成7)	「兵庫県南部地震 (阪神淡路大震災)」	7.3
2004年9月5日	「紀伊半島南東沖地震」	7.4



地震による落石(2004年、宇陀市)



熊本地震で活動する奈良県の警察官たち(熊本県)



自衛隊によるがれきのてきよ作業(北海道)

(1) 紀伊半島南東沖地震は、何年におきましたか。() 年

(2) 次の文の()にあう言葉を、 から選んで書きましょう。

- ▶ 地震がおきたら、緊急地震速報や地震に関する()を少しでも早く集める。
- ▶ 地震で大きな被害がおきると、国からは()が出動したり、他の都道府県の警察官が()のおうえんに行ったりする。

救助 自治会 情報 訓練 自衛隊

(3) 地震がおきたときの地いきの体制について、{ }の中のあう言葉を○でかこみましょう。
●地震がおきると、広いきで { 競争 協力 交代 } する体制になっている。

思考・判断・表現

各10点[50]

2 地震に対する取り組みについて、考えましょう。 各10点[50]



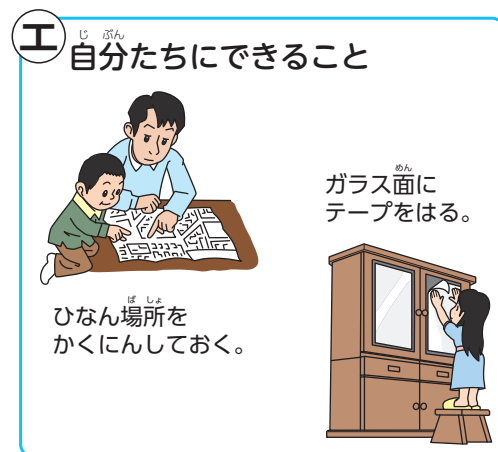
ぼうさいそうご 防災倉庫



ひなん所運営訓練



奈良県が作成している冊子



自分たちにできること

(1) 次のことは、上のア～エのどの資料を見て話していますか。□に記号を書きましょう。



きゅうぶつしほかん いのちまも 救えん物資を保管する、みんなの命を守るためのたいせつなしせつなんだね。



ならけんちよう さいがいじ がい 奈良県庁では、災害時のひ害をへらすための対さくをのせた冊子を作成しているよ。

(2) 地震にそなえた取り組みについて、()にあう言葉を から選んで書きましょう。

- ▶ 自然災害がおきやすい場所は、()で知らせておく。
- ▶ 自治会では、できるだけひんぱんに防災訓練や()訓練をおこなっている。

利用計画 ひなん ハザードマップ

(3) 地震にそなえて、あなたにできることを考えて書きましょう。



表現力

社会

3 自然災害から人々を守る

紀伊半島大水害

選択

なまえ

組 番

知・技 思・判・表

/50

/50

点

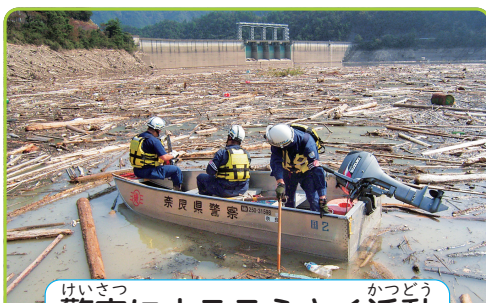
知識・技能

各10点[50]

1 紀伊半島大水害について、正しいもの2つに○をつけましょう。 各10点[20]



2011(平成23)年9月におきた紀伊半島大水害のようす(十津川村)



警察によるそうさく活動

県内のひ害	
なくなった人	14人
ゆくえ不明の人	10人
住たく全かい	40戸
住たく半かい	71戸
床上しん水	13戸
床下しん水	37戸
ひなんした人	938人
(2012年8月現在)	

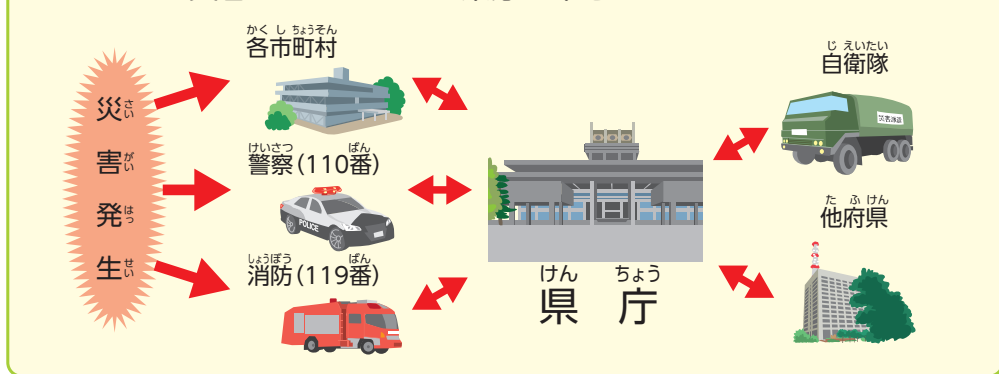
大きな土砂災害がおきたところ



- () 建物や道路に大きなひ害はなかった。
- () 土砂災害は、県南部を中心におきた。
- () そうさく活動は、住民だけでおこなった。
- () 災害は、2011年9月に紀伊半島でおきた。

2 災害から人々を守るしくみについて、()にあう言葉を から選んで書きましょう。 各10点[30]

災害がおきたときの県庁を中心としたはたらき



- ▶ 災害がおきたら、県は各市町村や警察、消防などの関係機関と()をとる。
- ▶ 災害のきばが大きくなると、県内の市町村や他府県、()にようせいして()に来てもらう。

救えん 学校 連らく 訓練 自衛隊

思考・判断・表現

各10点[50]

3 災害に対する取り組みについて、考えましょう。 各10点[50]

ア 災害からの復旧(十津川村)

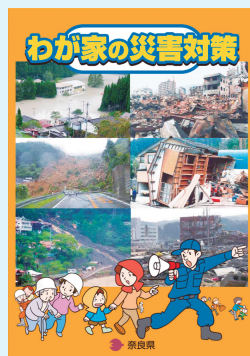


国道168号折立橋のひ害

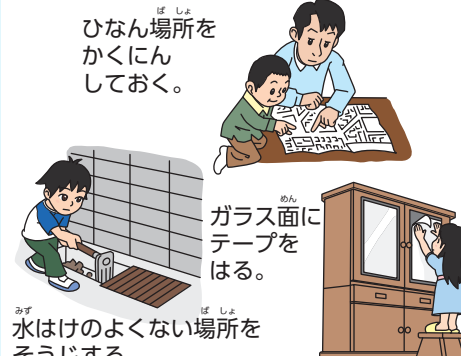


国道168号折立橋の復旧

イ 奈良県が作成している冊子



ウ 自分たちにできること



(1) 次のことは、上のア～ウのどの資料を見て話していますか。□に記号を書きましょう。



支えん物資をとどけるために、まず道路の復旧がおこなわれたよ。



奈良県庁では、災害時のひ害をへらすための対さくをのせた冊子を作成しているよ。

(2) 災害にそなえた取り組みについて、()にあう言葉を から選んで書きましょう。

▶ 自然災害がおきやすい場所は、

()で知らせておく。

▶ 災害の種類にあわせて、どこに

()するのかをたしかめておく。

利用計画 ひなん 発行 ハザードマップ

(3) 災害にそなえて、あなたにできることを考えて書きましょう。

